

GP 上海 2014 参加記



2014/10/3（金）-5（月）

上海世貿商城

目次

この本について	2	フーターズへの迷い道	19
GP 上海 2014 について	2	ホテルに戻って、再び夜の街へ	22
GP 上海 2014 への参加検討	3	足マッサージのボッタくりをかわす	22
GP 上海 2014 に参加を決める	3		
ホテルの決定	4	2014 年 10 月 4 日（土）	
GEN さんとルームをシェアすることに	4	GP 上海本戦の朝	24
VIP 予約をする	5	ビュッフェの朝食	24
		会場入りして VIP 席で待つ	25
2014 年 10 月 2 日（木）		スリープイン構築開始	26
出発の朝	6	GP 本戦開始 早くも後がない	26
金盾の国にようこそ	6	上海は美人が多い	27
入国して市内入り	7	意外と粘る	28
昼食	8	本戦を終えて市内観光へ	29
チェックイン	8	タクシーで南京西路静安寺へ	31
付近を徒歩で散策	9	道に迷ったすえに串焼き屋で夕食	31
夕食は焼肉食べ放題	10	帰り道でタクシーにぼられるのこと	32
食後の夜の散歩	11		
		2014 年 10 月 5 日（日）	
2014 年 10 月 3 日（金）		スーパーサンデーシールドの朝	34
GP 上海の朝	12	スーパーサンデーシールド構築	35
上海世貿商城へ	13	スーパーサンデーシールド開始	36
GP 上海会場と朝食	14	2 枚目のプレイマットを入手する	36
GPT ポッド 1	15	スーパーサンデーシールド終了	37
GPT ポッド 6 と前日受付	16	アーティストにサインを貰う	38
GPT ポッド 13 と萌えトークン	17	いったんホテルに戻る	39

南京東路の繁華街へ	39	2014 年 10 月 6 日 (月)	
ライトニングケーブルを確保	41	チェックアウトして老西門へ	46
夜の繁華街を堪能	41	老西門骨董市	47
エッチな現地製のゲーム	43	T シャツを巡るボッタくりの攻防	47
夜遊びの誘惑	43	地下鉄で空港に移動	48
マッサージを受けてホテルに戻る	44	空港で昼食	49
荷造りと就寝	45	搭乗手続き	50
		離陸と携帯電話禁止	50
		帰国と電車遅延	51

この本について

本書は 2014 年 10 月 3 日（金）～5（日）にかけ上海世貿商城で開催されたマジック・ザ・ギャザリングの上海大会（GP 上海）に、プレイヤーとして参加した筆者の記録です。

なお、現地の金額表記は原則として通貨の元(人民元)で行いました。

およそ 1 元=17.9 円（2014 年 10 月）で、感覚的には 1 元 20 円。2 年前のガイドブックとか読むと 1 元 12.5 円とか書いてあって割とぐぬぬな気分。単純に 1.5 倍。

GP 上海 2014 について

本書を手取るような方であればおよそ説明の必要はないとは思われますが、

GP（Grand Prix; グランプリ）というのは、1 年に 50 回くらい世界のあちこちの都市で開催されているカードゲーム「マジック・ザ・ギャザリング」の大会です。

世界中から 500-2000 人くらいのプレイヤーが集まって、日本でも 1 年に 3 回ほど開催されます（2015 年から日本では年に 4 回開催されることになりました）。

GP 上海 2014 は、上海で 2014 年に開催された大会ということになります。

<http://www.wizards.com/Magic/Magazine/Article.aspx?x=grandprix/welcome#1>

GP 上海 2014 への参加検討

基本的に筆者は、近場（※1）の海外のリミテッド（※2）GPにはお金や有休に余裕があれば参加することをデフォの行動にすることにはしているのですが、GP 上海については2013年夏に翌年のスケジュールとして発表されたものの、参加は疑問視しておりました。何しろ2014年は1月のGP クアラルンプールと7月のGP 台北に参加することはすでに決めていたので、元旦に1年分の有休が付与される自分としては、10月に有休が残るかどうかも疑問だったためです。お金はやりくりするにしてもね。

またやっぱり、香港はともかく中国本土はどうかなあ…という気持ちも少しはありました。それはそれとしてGP 上海2014の会場が上海世貿商城（Shanghai Mart ※3）であることも、ウィザーズのサイト（※4）で早々に公開されました。

※1 飛行機でせいぜい半日くらいの旅費の高くない所。海外は中国や赤道のあたりまで。豪州や米国や欧州は圏外。ただしラスベガスは別腹（笑）。

※2 筆者は「プレイヤー」としては構築はそれほど興味はありません。ただ国内GPは採用されればジャッジで参加することを優先しています。

※3 <http://www.shanghaimart.com/en/>

※4 <http://magic.wizards.com/zh-hans/content/fact-sheet-grand-prix-shanghai-2014>

GP 上海 2014 に参加を決める

7月に楽しいGP 台北が終わり、8月のGP 神戸も夏休み2日を消化して解決できることになったので、どうやらGP 上海に2-3日を使っても有休を残すことはできそうだ…ということで、8月頭にGP 上海への参加を決定しました。

正確には8月6日にいつものExpedia（※1）ではなくエアチャイナのサイト（※2）に直接アクセスして行きの木曜の便（成田8:55 発）と帰りの月曜の便（浦東14:15 発）に申し込んで43480円をクレジットで支払いました。これでもう後には引けません。

上海の地理はまったく分からなかったものの、どうやら上海世貿商城の最寄り駅は地下鉄10号線の伊犁路駅であるらしいことを調べて知ります。

また上海にフーターズが3つあることを知り（※3）、ひとつは行こうと決意します。

※1 <http://www.expedia.co.jp/>

※2 <http://www.airchina.jp/ja/index.html>

※3 <http://www.hooterschina.com/info/shopinfo.aspx>

ホテルの決定

次はホテルの選定です。expedia や booking.com (※1) など、地下鉄 10 号線沿いの安いホテルを搜索して老西門近くの安ホテルを予約したものの、9 月になって「上海虹橋雅高美爵酒店」(※2) を発見。

ここは booking.com で 5 つ星 (サイトによって 4.5 星) の高級ホテルのようなのですが、GP 会場にも徒歩圏内に見え、何より GP 期間内に **6 割引** のセール中であることが判明。スーペリアツインルームを 4 日間借りてわずか 1352 元。サービス料 15% を加味しても 1 泊 6 千円ほど。5 つ星なのに。ツインルームだけどこれなら 1 人で借りてもいいや、ということで 9 月 9 日に予約。これは快適な宿がゲットできたみたいです。

なお、その後の調査でこのホテルのある区画は日本領事館や日本の現地法人マンションもある「日本人街」と言っても良さそうな区画で、噂では「日本人客が 6 割」とも。

んー…これは宿泊には困らないにしてもハプニングを楽しめないかな？ 普通ならこれは加点要素かもしれないが自分としては減点要素。とはいえキャンセルするほどではなく。

※1 <http://www.booking.com/>

※2 <http://www.grandmercurehongqiao.cn/jp/index.php>

GEN さんとルームをシェアすることに

これでホテルは決まったものの、せっかくのツインルームを 1 人で借りるのは勿体ないというもの (1 泊 6 千円なら全然 OK だけど)。

そこでまず一応女房に声をかけるも、ひとことのもとに「やだ」と却下される。

このため一緒に GP 上海行く知人はいないかなー…ということで、海外ジャッジ仲間の

GEN さんに声をかけた結果、GEN さんも GP 上海に行くことにして承諾。

よっしゃこれで 1 泊 3 千円。まあ、値段の割にという不満が出ることはないと思う。

ま、お互い別におねーちゃんを部屋に連れ込む予定もないし、いいんじゃないかな。

VIP 予約をする

9 月 12 日、やはり GP 上海にプレイヤー参加するセイントザウルスさんの DiaryNote で発見した情報から、GP 上海のオンライン予約が予約ページ（※1）ですでに始まっており、しかも「VIP 予約」のオプションがあると知りました。

この予約サイトは人民元ではなくて Paypal の米ドル払いで、通常の参加費は 45 ドル、スリープインは 65 ドル、スリープイン込みの VIP は 80 ドル。

「VIP 予約」といえば 2 年前の GP ラスベガスで至福の思いをした（宣伝：詳しくは GP ラスベガス本を参照）ので、これは申し込むべきだよなと思いつつ、でもスリープインが無いとお得感が薄いんだよなあ、GPT で優勝したかったなあ…と思ったり。

しかしここで「待てよ」と思いつつ、ふと自分の PWP をウィザーズのサイト（※2）で調べてみたら、先月までの 2014 シーズン 3（6/2～8/24）には 538 点を獲得済みであることが判明。GP 上海のファクト（※3）によれば PWP400 点が 1BYE なので、なんだ俺 GP 上海 1BYE 持ってたじゃん。GP 台湾で初日を通過しただけのことはあったね！

ともあれこれで、スリープインの 20 ドルを申し込むと思えば VIP 代はわずか 15 ドル。

これで「プレイマット保証」「特製バインダー」「特製トークン」「サイン会の優先権」などがあるなら、こりゃもう VIP に申し込まない手はないですね。

ということでただちに 80 ドルを払って VIP で予約。

なお、その後 9/16 日にサイトが更新され、GP 上海に来るアーティストの Aleksi Briclot の描き下ろしプレイマットの絵は「パンダ」であることが判明（笑）。

またオンライン VIP 予約枠はわずか 20 名で、9/21 には売り切れた模様。

※1 <http://en.playeventschina.com/?event=gp-shanghai-2014>

※2 <http://www.wizards.com/magic/planeswalkerpoints>

※3 <http://en.playeventschina.com/?cat=14>

2014 年 10 月 2 日（木）出発の朝

5 時過ぎに起床。すでに明るい中キャリーを引いて駅へ。ま、金とパスポートとクレカと銀聯カードさえあればどうにでもなるでしょう。

移動中、今期のジャッジ報奨枠に選ばれたことが判明。まあ、嬉しい。

また円安ドル高でドル 110 円を超えていて頭を抱える。当然、人民元も上がっている。帰国翌日予定のクレカ決済日に少しでも戻してくれているといいのだが。

何ごともなく 6 時 28 分の成田エクスプレスに乗って 7 時 43 分に成田空港駅に着きモデムを受け取ってカウンターで荷物を預けて発券し、セキュリティを通過して出国審査を通過し 8 時過ぎには 42 番ゲートへ延々と動く歩道で移動。ほどなく搭乗が開始し、8 時 23 分には機内に着席。隣が空席でゆったり使えるのは嬉しい。いったん通信を切る。エアチャイナ 158 は定刻 8:55 に何事もなく離陸した。



金盾の国によこそ



エアチャイナの機内食はまあ普通に食べられる味。そして何事もなく 3 時間後、上海浦東空港に到着した。日本時間で 12 時半、時差があるので現地では 11 時半（以後は上海時間で記します）。

さっそくモデムの電源を入れる。普通に起動して iPhone でネットに接続できるようになったのだが、

やはりツイッターにはまったく繋がらない。噂どおりの**金盾**の力。

しかし mixi には普通につながるようだったので（笑）、こちらでつぶやきを開始する。

かかる事態を予想して mixi からツイッターへの転送設定をしていたので、これがうまくいっているようであれば、一方通行ではあるが日本から私のつぶやきが読める筈である。

ただし実は「写真つきつぶやき」でない普通の「つぶやき」は、mixi からツイッターにはうまく転送できていないことが後に判明した。当然、写真を撮らないでつぶやくほうが多いので、日本からは途切れ途切れにしか読めていなかったようだ。

そして当然 Google にもつながらない。後に yahoo.co.jp には普通につながることが判明したのでネット検索はさほど不自由しなくなったのだが、当初はかなり困った。なにげにグーグルマップが使えないのが現地の地理に不得手な身としては痛い。

ただし携帯への Gmail 転送はノーチェックのようなので、メールが読めるので助かった。日本人への情報を規制する気は無いのは明らかで、中国人向け規制の巻き添えを食う形。これ国ドメインだけ見て規制してくれないものかなあ…と思わないでもないが、それだとザルになっちゃうってことなんだろう。

入国して市内入り

入国待ちの列は 200 人ほど。ま、並んで待つしかない。

入国手続きを終えて ATM で 3 千元を現金で獲得。よし、これで戦える。

次はホテルに移動してチェックインだ…と思って移動を開始すると、リニア乗車口の前で 1 時間ほど先に着いていた GEN さんがこちらを発見してくれた。やれ助かった。

リニアの切符を 50 元で買い、改札前のセキュリティ検査で荷物を X 線機械に通してから、改札を通過してリニアに乗車。ほどなく発車した。

車内で GENさんとマイミクの申請と承認などやっているうち、終点の龍陽路に到着した。さすがに噂通りの速さだな。

ここで地下鉄 2 号線に乗り換える。さて乗り換えには…と思って探すと、ほどなく発見。双方の駅が並行に並んでいて、ビルを出て 100m ほど移動するだけだった。

目的の婁山関路駅まで 10 元。100 元札は自動販売機で使えない。そして地下鉄 2 号線の改札前で、またしてもセキュリティ検査。正直うんざり。香港デモや国慶節の影響でなく、どうも中国は常にこうらしい。市内移動はタクシーをメインにすべきかなと考える。

昼食

30 分ほどして婁山関路駅に到着。タクシーの為駅で交通カードを買う。次はホテルまでタクシーで移動してチェックインだが、GEN さんが昼飯を提案する。確かにもう 13 時前だ。即応。

このため駅を出てレストラン集合ビルに入るも、どうやら国慶節の影響らしく、平日の昼間なのにココイチとサイゼリア以外のレストランは全滅で廊下を歩く客もなし。すごい**廃墟感**。

さすがに中国まで来てしよっぱなからココイチやサイゼリアは嫌だったのでビルの周囲を歩くと、現地のファストフードを発見。

中国語のメニューで、セットの構成もよく分からないまま注文し、食す。味は悪くないがお得感はない。トータル 50 元くらいだったか。



チェックイン

タクシーにメモを見せてホテルへ移動。さっそくチェックインするも、フロント段取りのいまいちぶりに（…5 つ星…）という言葉がちらつく。

カードキーを 2 枚受け取り 1019 号室に移動。ベッド、テレビ、冷蔵庫、台所、全自動洗濯機、お湯の出るバストイレ。アイロン。

ホテル Wifi も問題ない品質。不要だけど。

バスローブが無かったのでフロントに電話をして請求するも、回答は「なし」。えー（5 つ星…）。

まあでも 3 千円なら別に文句はない。

付近を徒歩で散策

小一時間ほど一息入れたりした後、GENさんと別行動で14時半にホテルを出て、近くの散策を開始することにする。まずはホテルに来る前にタクシーで通りかかった際に気になった現地の商店街を歩くことにする。東に移動して古北路まで出てからは北上。

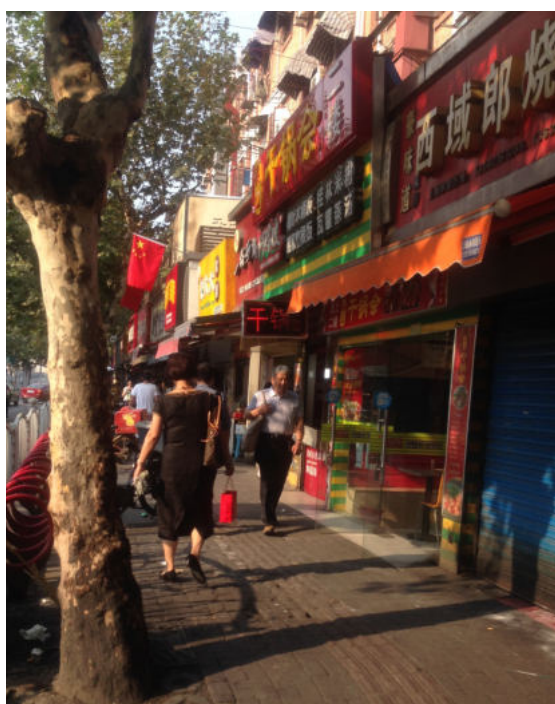
そのまま1時間ほどぶらぶらと歩いたものの、現地の食材量り売り店や服屋はそれなりにあるが、特に気を惹くものなし。またやはり「国慶節で今週一杯は休みます」の貼り紙の店も。基本的には観光客向けのルートではないようだ。

東に進んだデパートそばの路地に色々な揚げ物などの屋台が出ている一角を発見して喜ぶも、まだ腹が一杯で手がでない。あとでまた来るか。さらにぐるっと南に回り、ジャッジホテルやら明日からのGP会場のビルのほうまで歩くも、目ぼしい収穫はなし。

さすがにくたびれたので、帰りがけにホテルの近くの交差点のマッサージ屋に入る。

チャイナ服のお姉ちゃんが受付で、追加料金を払えばエッチなオプションもある感じの店ではあるが、こちらが最低料金の1時間で146元

(お茶代込み)の足マッサージだけをオーダーで強調したため、特にその手の誘惑はなく足を揉まれて終了。



なお本日の散策の目的に「エッチな日本の海賊版DVDはないのか…」というのもあったのだが、その手の店は見当たらず。現地や米国のドラマなどを録画した海賊版のDVDをリアカーに積んで売っている商人は交差点に何人かいたのだが、軽く内容をチェックしてすべてスルー。中国語の字幕のみだし、日本人向けではないね。

基本的に本日のルートは、でかいビル街ばかりであまり買い物ゾーンではなかった模様。

夕食は焼肉食べ放題

ホテルの部屋に戻ると 18 時。GEN さんは不在であつたがやがて mixi メッセが入る。周囲を一回りしていまホテルに戻っている所らしい。では戻ったら夕食に行きましょうということにする。

ガイドブックを読んで夕食の場所を検討すると、このホテルの前を東西に走る仙霞路を西に行くと、それなりの盛り場や飯屋がある模様。2 時間焼肉食べ放題で 60 元という格安の店もあるようなので、ここに行きましようと戻ってきた GEN さんと決定。すでに日が暮れた所を GEN さんとホテルを出て、地図を頼りに仙霞路を西に行くと、やがて目的の店に到着した。そのまま入って 2 階へ。



中国語だけのメニューに一体どうしたものかと GEN さんとしばらく悩むも、英語が分かる店員（たぶんマネージャー）が居たので、そのひとに「お任せ」で適当にオーダーする。

あとは思い思いに、届いた**何の肉だがよくわからない肉**を焼いて、自分で取った野菜とドリンクで流し込む。

強くスパイスが効かせてあり肉の質など問う気も起こらない味だが、肉は肉である。

2 人でほどよく満腹になるまで食べて店を後にする。

食後の夜の散歩

夕食を終えると 20 時。まだホテルに帰って寝るには早いというわけで GENさんと別れてこちら方面の散策を開始することにした。観光客向けの「I ラブ上海 T シャツ」を売っている店などあれば寝巻き代わりに調達できないものかとも思っていたのだ。

さてさてこの辺の夜の上海の街はどういう顔を見せてくれるのか…と思いつつ、路地や路地裏を回る。

結論から言うと、このへんは比較的「日本人駐在員」向けの夜の店の多い区域であった。

キャバクラ系の「おねーちゃんを連れ出せる」酒場が乱立し、日本語の看板も多数あり。**萌え系**もあり。



斜めからこっそり撮った、パチンコの RIO ちゃんのポスター→



もともと、こちとら萌えはともかく酒も飲まないからキャバクラ系の店にはまったく興味はないし、そもそもこんなことに使う金など、どこにもない。

※上海風俗情報によると、連れ出しエッチは総予算 3〜5 万円くらいらしい。

ということでしばらくぶらついた後、特に収穫もなく、正直ものたりなさを感じつつ、ホテルに戻って 23 時。

バスローブがなく寝巻きに下着を使う必要が出た以上、最低でも下着は洗濯しての使い回しが必要だ。

このためシャワーを浴びた後は GENさんの後で洗濯機を回したりしながら、日付が変わる頃に就寝。

↑シースルーlookの可愛い妖精たちがあなたをお迎えます！！

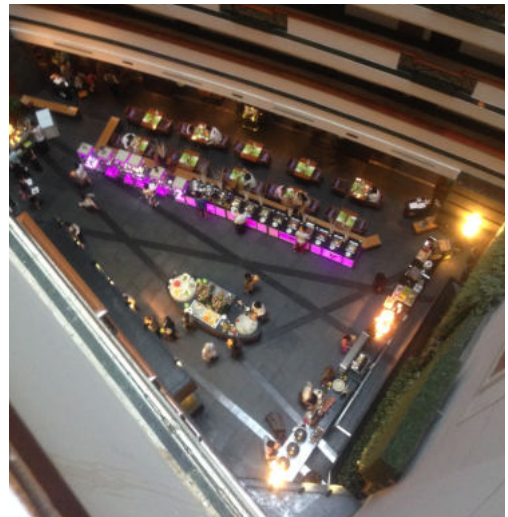
2014 年 10 月 3 日（金） GP 上海の朝

明るさで目が醒める。時計を見ると朝の7時前。よし、起きよう。

そしてホテルの窓からの朝の風景。同じ色の屋根の建物ばかりが延々とほるか彼方まで並んでいる。いいなあこのディストピア感（笑）。※この本の表4

昨夜回した洗濯機が終わっていたので風呂場に干す。
ハンガーはたくさんあったものの、日本から携帯式
ピンチハンガーを持参しても良かったかもしれない。
すこし喉が痛い。風邪ではなく空気のせいかな。
まだ寝ている GEN さんを置いて朝の散歩に出る。

中庭風の2階朝食ビュッフェを見下ろしつつ、エレベーターで下へ降りてホテルを出る。



ホテルのすぐ近くの交差点の銀行ビル。

3階が昨日入ったマッサージ屋だ。

4階の「ネルトンクラブ」という言葉の死語感がすごいが、おそらくこれも連れ出し型のバーなのであろう。ホテル近くにも何軒かあった。

こういう路地には粉ものを焼いた屋台でも開いていないのかなあと思いつつ会場方面に歩くが、何もなし。そもそも中国は朝の公園で市民が太極拳をしているのではなかったのか。

あるいはこれも国慶節の影響なのか。





そこかしこにある新聞雑誌のスタンドも、9割は
しまってます国慶節。

そろそろ市内歩きにも慣れてきたので、明るくて
見晴らしが良い歩道では歩きスマホも始める。

もっともスマホを見ながら横断歩道を渡るような
真似はしない。私も命が惜しいからね。

歩行者用が青信号でも決して気を抜けない上海の
道路事情。このへんは昨日の時点で実感。夜間に
びゅんびゅん信号に無関係に車が通る道路を横断
するのはマジで怖かったです。あれはもう嫌だ。

8時前に部屋に戻る。ホテルのエレベーターがルームキーを挿さないと客室階のボタンが
選べない仕様で最初は戸惑う。つまりホテルと提携していないおねえちゃんは部屋に呼べ
ないわけですね分かります。

部屋に戻ってホテルのアメニティなどを確認。裁縫セットまであるのか。まあ長期滞在も
可能そうなホテルみたいだしね。ともあれ歯を磨く。

上海世貿商場へ

この頃にはもう起きていた GENさんと支度をしてホテルを出て会場に向かうことにする。
近くに飯屋が見当たらないので、朝食は会場近くで何とかするのではないかと思いつつ、
タクシーを拾って目的地の上海世貿商場を地図とともに伝える。

内容は伝わったようでタクシーは普通に東に走り出したが、マッサージ店のある交差点で
右折せずにそのまま直進して大回りして会場に着く。ここ一方通行だったかな？と思った
のだが結局これは運ちゃんに**ボラれていた**だけで遠回りルートを取られたと後に判明
した。にこやかな爺さんだと思ったのになあ。支払いは交通カードで。

9時に会場到着。会場正面に大きなGPの看板があったので記念撮影にポーズを取る。

なお、会場入り口に長蛇の列があったので一瞬「まさかGP上海の人か？」と一瞬思うも、列が年寄りやオバチャン多数で、これは別の貴金属の展示即売会の列だった模様。



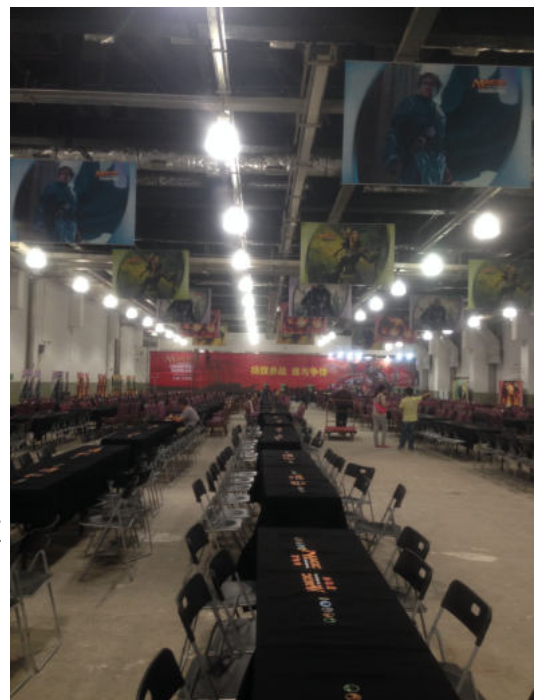
ではGP会場はどこかな？と思って入り口で受付に聞くが、英語が通じる人間も居ないし入り口に「今日開催されるイベント」のような案内なども見当たらない。やむなくGENさんと二手に分かれて探した結果、ほどなく4階という正解に2人ともたどりついた。なお我々が目的地を探し終えた直後に、エスカレーターの横にフロアを明示した案内板が立った（笑）。

GP 上海会場と朝食

そして会場に入る。けっこう豪華な調度に、やはり来て良かったなーと思いつつ心が躍る。

すべてのテーブルに「万智牌」の公式の黒マットが敷かれている。結構、お金がかかってるぞこれ。

さらに「ジェスカイ戦隊5人衆」の顔出しの看板が出ていたので、さっそく自分が顔を出しGENさんに撮影して貰う（この本の表紙です）。



GPTの受付を開始するのは10時かららしいので、では朝食にしようとGENさんと会場ビル周囲を探すも、国慶節期間の今週はほぼすべてテナントが休みであるらしく、1階の開いている飲食店が見当たらない。看板は見えるファミリーマートもなぜか発見できない。



中国人ジャッジのナッシュを発見したので声をかけて聞いたが、ナッシュが現地人に聞いても事態は好転せず。しかし諦めて会場に戻ると、飲食販売ブースでまともなコンビニ弁当を14.9円で売っていることを発見したので、これで朝食を済ませた。

GPT ポッド1

10時を過ぎて、受付を開始したGPTにさっそく並んでポッド1にエントリーして32人揃うのを待つ。200元。2年前なら2500円だが今は3500円だとか頭をよぎるが忘れたほうが幸せ。ま、GPTシールドならギリギリ許容範囲の値段か。

この時点でファットバック付録の小冊子をホテルに忘れてきたことに気がつく。あの本が必要なのは英語版バックでデッキを組める明日よりも今日だというのに！

あるいはGP台北のときのように「もう1個ファットバックを買う」ことも検討するも、バイヤーブースで値段を聞いて「250元」と言われたのでスルーする。みんな円安が悪い。

そうこうするうちにポッド1成立。GENさんが光ったフェッチを引いてにこやかにドロップするのを横目に見てチェックバックを流すと、自分のプールにはサルカンが流れてきた。お、元取った。取りレアと他のコモンとアンコモンを睨みつつ赤白黒で組む。さて、どうかな。

取りレア：

《龍語りのサルカン》
《アブザンの隆盛》
《足首裂き》
《サグのやっかいもの》
《ティムールの隆盛》
《悪逆な富》

Round1 赤白黒緑 ×○×

G1 土地が3枚で止まって負け

G2 なかなか山を引かずに苦戦するも、辛勝。

G3 沼を引かずに負け。

うん、2色土地支援のない均等三色は、やっぱり普通に事故りますな。まずは一没。

GPT ポッド6と前日受付



ポッド1から脱落したので、ただちにポッド6にエントリーする。

成立までの間の待ち時間で会場内を歩き、さらに受付のVIPエントリーを済ませる。プレイマット、スリーブ、バインダーとVIP用のリストバンドとか色々貰った。

そろそろ12時半になったが、まだ腹は減らないものの昼飯をどうするか考えているうちに、成立して構築開始。

そしてまた残念レアの足首裂き。しかも今度は光っている（笑）。まあリミテッドではそこそこいける子なんだけど、自分が押されている時にはクソの役にも立たないレアなのが辛い。

バイオゴリラは魅力ではあるものの、プールの青緑が貧弱だったのでやっぱり今回も足首裂きを入れた赤白黒で構築。レア多数が入るしね。

さて今度は、善戦できるかな…。

取りレア：

《対立の終結》
《血に染まりし勇者》
《古き者どもの報復》
《足首裂き》フォイル
《はじける破滅》
《凶暴な拳刃》
《幽霊火の刃》

Round1 BYE

さっきの GEN さんのように「良いレアを引いたからドロップ」する人が3名出たらしく、BYE が3名も出ていた。労せずして不戦勝をゲット。

一瞬「BYE 同士で対戦させればいいのに」と思ったのだが、よく考えたら32人シングルエリミフライトのこのGPTでそんなことをやると後のラウンドに皺寄せが来るんだよね。

2回戦までの待ち時間を利用してオラクルをiPhoneにダウンロードし何枚かのカードの効果を確認する。それにしても金曜日なのにこの熱気。明日は千人超えそうだねこれ。

Round2 Kelvinさん 赤白黒 ○××

特に書きたいこともない殴り合いの展開で負け。3ゲーム目は土地ばかり引いた。勝てないなー。3パックを貰って終了。

GPT ポッド 13 と萌えトークン

16時にポッド13にエントリー。さすがに今日はこれで買っても負けても終わり。

そろそろ今夜の予定を考え始めるが、考えるまでもなくフーターズでいいかな。

会場にいる女性は2パーセントくらいか。暑いためかホットパンツの子が多い。もちろん彼氏つきなのだが。

そして構築開始。またしてもバイオゴリラがこんにちは。しかし今回レアはジェスカイを組めと言っているので、やはり今回も入らず。

Round1 BYE

またしても不戦勝。

3パック確定なのはいいが、今日は人間に勝ってない…。

取りレア：

《アラシンの上級歩哨》

《真珠の達人》

《賢いなりすまし》

《硬化した鱗》

《悟った達人、ナーセット》

《凶暴な拳刃》

1 回戦の間に会場をぶらぶらする。バイヤーブースにパンダのプレイマットが売りに出ているが 400 元。さすがに予算オーバーだ。300 元までならワンチャンと思ってたが。台湾や香港にも出ていた萌えトークン屋が新作を出していた。



驚きの 9 枚セット。トークン 9 枚の裏で 1 枚の大判絵を構成するというトレカ風な作り。ざっと 30 種類くらい新作が出ていて、多くは裏だけが違う同じ絵のフォイルトークンの 9 枚セットなのだが、エルズペスに限り中央の 1 枚が紋章で 8 枚が兵士トークン。うまい。気になるお値段はセットで 70 元。2 年前に千円でなら買ったのだが、円安が憎い。

Round2 Zhouさん 黒青緑 x○x

G1 土地が 4 枚で止まって何もできず。相手は好きなようにマナを伸ばして展開して、かつ 3 体くらいで殴りつつ自分で《千の風》を表にして自分で自分の攻撃クリーチャーを戻してしまっていてポカーンとしていたくらいの人（笑）だが、それにも負け。

G2 普通に勝ち。

G3 色事故で負け。

おワタ！とうとう人間には一回も勝てなかった。ではフーターズに行こー。

フーターズへの迷い道

昼過ぎから開始していた「スタンダードシールド」に4-0で快進撃しているGENさんを見捨てて19時半過ぎに会場を出る。

地図を見ながら、会場からは500mくらいしか離れていない筈のフーターズ尚嘉中心店に徒歩で移動を開始する。住所を見る限り仙霞路にある筈だからそんなに遠くない筈だ。

途中ビルに看板を発見したので、自分が正しい方向に進んでいると確認しながら小躍りして進む。この時点で20時。

ほどなく着けるとも思ったのだが、この

時点ではまさかこれから**1時間以上**

も迷うとは想像していなかった（涙）。



最初に、このでかい看板のあったブロックに入ってレストラン区画でフーターズの正確な位置を聞くも、英語というのものもあるにせよ誰に聞いても話が通じない。あれれ？

ここでしばしロスタイムのうえ「どうやら違うブロックらしい」という結論に達したので、ビルを出て再度地図を開いて、周囲を確認しつつ進む。

それからしばらく歩いて「歩く上海」の地図で見る限りどうやらこのブロックらしい、という所に到着して、少し離れたエリアの食堂が数件並んでいる区画にフーターズの小さい看板まであったので、やれやれどうやら間もなくかなと思って歩く。しかし本当の地獄はここからだった…。

そのブロックの入り口に立つ警備員などに地図を見せたり看板を指差して聞いても、首を振るばかりで要領を得ない。あれ？

やむなく先の看板を基点にして、自力でそのブロックの外周を回り始める。きっと程なくあの見慣れたオレンジのロゴのネオンが夜目にも明るく見えるだろう…と期待しての行動だったわけだが、結果的にはこれが大失敗。そこから一辺が200mはあったブロックを外周沿いに回ってもまったく見つからない。あれれれー？途中で会う受付の人や警備員に地図を見せて聞くもやはり要領を得なかったり「このビルの地下だ」とデタラメの答えを聞かされて、一応それに従ってみてますます迷走したり。

汗だくで夜道を歩く俺にポン引きが「女の子いるよ」と声をかけてくるが**それどころではない**ので振り切る。今の俺が会いたいのは 500 円でセックルできる現地の女の子ではなくてフーターズの制服を着た女の子なのだ。

とうとう広大なブロックを一周してしまったため、自力の搜索を諦めてタクシーを拾ってガイドブックの住所を示して店の前まで行って貰おうとしたが、何を言ってるのか分からなかったものの運ちゃんはそのフーターズの住所を見るなり断ってくる。

後で分かったことだが、目の前にあるビルの住所を見せタクシーで「ここまで行ってくれ」と言っていたのだから、そりゃタクシーは断るよ（笑）。

結局は 1 時間以上うろうろ歩いたうえで最初のフーターズの看板の所に戻ってしまった。ここで作戦を変え、まだ食堂やらの周囲に居た現地人に片っ端から声をかけ、目の前のフーターズの看板を指差して英語で聞きまくる。この際、英語が通じるかどうか知らん。そして何人かに聞いた後で、ついに 1 人のおっさんが通りの反対側にあった大きなビルを指差した後で「すっ」と指を上に向けて微笑む。地図を読み間違えていてブロックを 1 個間違えていたというのも致命的だったが「上」か！礼を言って別れる。

そしてそのマンション風のビルの中に入り、入り口で聞くと今度は「3 階」という情報を得る。ただちに裏手にあるエレベーターで 3 階に上ってから鉄の非常口ドアを開けると、目の前に明るいショッピングモールの光景が！そして自分は目指すフーターズの入り口の横に立っていた。やっと着いたよ…。

（今回の教訓）

- ・日本からの地図は、たとえ漢字は読み取れる筈であってもあまり真剣に目を通して貰えないものなのだなぁ。
- ・一番の敗因はフーターズの店舗が「外」に向けて開いているものと思い込んで、オレンジの照明を外から探し回ってしまったこと。そんなものはどこにもなかった。店舗はショッピングモールビルの中だった。
- ・住所をよく見たら「上海市仙霞路 99 号尚嘉中心 3 层 L310」とあるので、つまりこれは仙霞路 99 号の近くで「尚嘉中心」というビルはどこだ？と聞いてから「3 階」を探せば一発で見つかったはずである。ていうか、さすがに地図や住所の読み方すら知らずにトライするのは無謀だったよね（笑）。

汗だくのまま店内に入って座ってオーダーを済ませると 21 時半。2 時間近く歩いた…。

料理はいつものバッファロープラッターにコーラ。

まあ、お一人様ならこんなもん。そもそも料理が目当てなわけではない（笑）。コーラをお代わりしてガブ飲みする。

そして目的の上海フーターズは…家族連ればかりのうえ、店内に 10 人くらいは居る小学校低学年くらいのガキを、お姉さんがフラフラであやしている。



…うん、これは健康的なファミレスだねっつ！

これはこれでレアな光景だが**エロ度はゼロ**。

ただし紺色のタンクトップを着た背の低い巨乳店員は、ちょっとスクール水着…もとい潜水艦伊 19 みたいでなかなか良かったです（笑）。

デザートにアイスでしめて料理は終了。

最後に自分のフーターズマグカップコレクションに加えるべく、上海店マグカップを購入して終了。

トータルで 154 元。ま、こんなもんでしょ。

上海マグカップは上海 3 支店で共通のようだったので、それならわざわざ今回の上海旅行でフーターズの残り 2 店を全制覇するまでのことはないかな。



ホテルに戻って、ふたたび夜の街へ

ブランドショップばかりのモールを総スルーして、
入ったほうと反対側からこのモールを出る。
こちらのフーターズの看板を先に発見できていたら、
すぐ着いていたよなあ…と出た所の看板を見て思う。
フーターズを出ると 21 時。そのままホテルに帰投。

しかしこれでシャワーを浴びて寝てしまっただけでは上海に
敗北なので、一休みしてから昨日歩いたローカル色の
強かった辺りを一回りすることにする。夜の婁山関路
駅前とか、どうなのかな。



GEN さんは結局「スタンダードシールド」の決勝に勝ち残ったものの、時間的に決勝の
ドラフトは日曜に回したので会場を離脱して飯を食っているようだった。自分が出る。

足マッサージのボッタくりをかわす

夜の婁山関路駅前などには別にたいした収穫もなく、1 時間くらい歩いてさすがに疲れて
きたので、今夜も足マッサージでしめてホテルに帰ることにする。

日本語の看板もあるとあるマッサージ店に入った。

受付のお兄ちゃんに、足 1 時間 95 元の最低コースをオーダーする。例によってくそ安い
最低コースじゃなく 1 時間 300 元くらいのコースを頼んだら、お姉さんが来てエッチな
追加料金コースに誘われるのではと思いつつ頼むと、おじいちゃんが出てきた（笑）。
爺さんは揉む前に自分の足を見て、結構酷い巻き爪であることに気がつく「30 円で爪
切ってやるけどどうだ？」と言ってくる。500 円か。まあ受ける。

爺さんが靴から道具を出してヘッドライトを装着するなど本格的な準備ののち、爪をしっかり切る。これを見ただけで元は取った感じ（笑）。

その後、1時間足マッサージ。これは何も不満もなく終了。余は満足である。

マッサージを終了し、靴下と靴とズボンを履いて、ではあとは出口で会計を終えて帰るだけであった。

ところがこの時点で爺さんがメニューを手に持ちつつ指して「オイルマッサージだったよね？」と

意味不明のことを言ってきた。**そう来たか。**

オイルマッサージは288元。そして気がつく自分の横に別の男の店員が立っていた。

そしてカウンターの男と爺さんを合わせて自分を囲む男が3人。キタキタキター！

「そういえば足を揉む前にクリームを擦り込んだよなあ」と一瞬思うも、いやいやそんな馬鹿は話はないなと打ち消して「ん？フットマッサージだよ？」と爺さんに答える。

爺さんは再び「オイルマッサージだよね？」と言ってくるが、おねえちゃんが身体を密着させ昇天させてくれたならともかく、じじいの責めに追加200元も払うわけにはいかぬ。このため再度「フットマッサージだよ？」と答えると、向こうは折れ、爪切り代プラスの125元を払って終了して店を出る。

正直なところ**駄目もと**で観光客目当てにこういうことをするのは嫌いじゃない。

帰りはホテルまでタクシーもいいかなと思うも、右側通行や一方通行に慣れずタイミング良くタクシーを拾えず、そのまま坂を下りてホテルまで着いてしまった。

コンビニで買い物をして部屋に戻る。GENさんはすでに寝ていた。

自分もシャワーを浴びて1時には寝る。明日は何と言ってもGP本番なのだ。



2014 年 10 月 4 日（土） GP 上海本戦の朝

7 時過ぎに目が醒める。

昨日の下着やタオルを洗濯機に放り込んで朝の支度。

スリープインは 11 時に会場入りすればいいのでまだ余裕であり、GEN さんもまだ起きないので昨日の荷物の整理や試合のメモなど残す作業を開始する。

結局、GPT 3 回を通して人間には一度も勝てなかったわけだが、BYE で 6 パックを獲得したので開封する。そこそこお持ち帰り。

持ち帰りレア：

《軍族の雄叫び》
《マルドゥの隆盛》
《ラクシャーサの死与え》
《スウルタイの隆盛》
《龍爪のスーラク》
《タルキールの龍の玉座》

そして今日こそは忘れずに、ファットパックの付録小冊子を荷物に含める。

今日は良いレアが引けるかな。マネーフィニッシュが射程内のプロなら別だけど、やはり自分ならフェッチのfoilならドロップだよね。サルカンのfoilもかな…。

※この時点ではスリープインのパックは開封済シャッフルなしなのでドロップも糞もないのを忘れていた。

あとは結果次第だが何時に会場を出られるかなあ。今のところ土産の購入がゼロなので、そろそろその辺を考慮して動かねばならぬ。

2 日間周囲を歩いた限りでは、このホテル周辺はいまいち観光客向けの所が何もないので、今夜は市の中心部にタクシーで繰り出してすることにしようかな。

ビュッフェの朝食

GEN さんが起きたので、朝食はひとつホテルのビュッフェを試してみましようということにする。支度をして 9 時過ぎに部屋を出て、2 階で下りてビュッフェへ。



英語が通じる店員に色々聞いたり足りない皿などを求めたりしつつ、ビュッフェを堪能。正直なところ割と品切れ気味の感もあるが、このへんは7時過ぎに来るべきなのだろう。



卓上にあった調味料入れ。

穴3つが塩で穴5つが胡椒。

いやまあちょっと舐めればいいんだけど、コレ視覚的に判別するのは不可能だよ（笑）。

とりあえず64元なら「あり」だとは思った。

1元が12.5円ならもっと良かったのだが。

会場入りしてVIP席で待つ

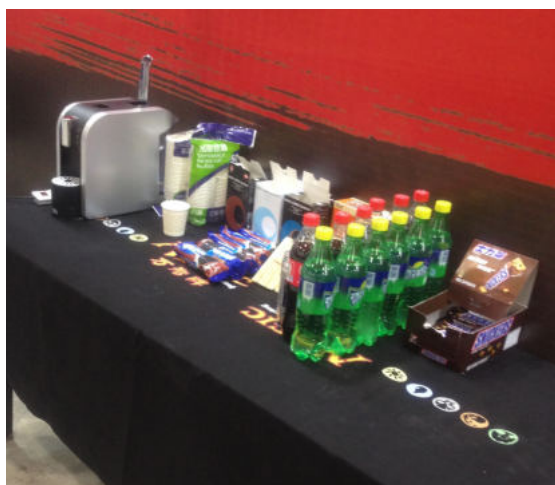
一通り腹を満たしてから、GENさんとタクシーを拾って10時過ぎに会場入り。

タクシーは例の交差点ですぐ右に曲がった。やはり昨日のタクシーはボッタくっていたのだな。たとえメーターは正確に代金を測定していても遠回り是可以する。

スリープインの開始時間までVIPエリアで待つ。無料のぬるいコーラを取ったりする（ほどなく消えた）。ま、椅子に座ってすぐ近くのペアリング掲示を待てるだけでもよいよいよいよい。

プレイマットのショップ売値は400元のままで、これでは残念ながら、余分に買う目はないな。

しかしVIP席で個人バイヤーの方と色々話すと、ショップのプレイヤーからの買い取り価格が〇〇〇元なのでそれより安く入手するのは無理だが、その値段ならプレイヤーから買い取ったのをそちらに渡せるかも、とのこと。一応1枚できればお願いします。



スリープイン構築開始

11 時を回り、ようやくスリープインへの誘導が始まる。
列に並んで受付をし、プールを受け取ってデッキを構築する。
お持ち帰りもそこそこあるな。

そして今日はアブザンで組めた。

取りレア：

《賢いなりすまし》
《死滅都市の悪鬼》
《爪鳴らしの神秘家》
《包囲サイ》
《スウルタイの隆盛》
《ティムールの隆盛》

Creatures:16

《マルドウの悪刃》	《雪花石の麒麟》
《縁切られた先祖》	《マー＝エクの夜刃》
《アイノクの盟族》 * 2	《包囲サイ》
《道の探求者》	《松歩き》
《爪鳴らしの神秘家》	《アブザンの先達》
《鱗の隊長》	《長毛ロクソドン》
《アブザンの鷹匠》	《死滅都市の悪鬼》
《マルドウの軍族長》	

Spells: 7

《消耗する負傷》 * 2
《凶暴な殴打》 * 2
《大物潰し》
《絞首》
《死の激情》

Lands: 17

《花咲く砂地》
《ジャングルのうろ穴》 * 2
《磨かれた痩せ地》
《平地》 * 6
《沼》 * 4
《森》 * 3

レアも3枚入って2色土地も3枚入ったのでそれほど弱くはないと思うんだけど、どうか
な…しかし右手に裏切られると笑っちゃうほど勝てないのは、昨日立証済ではある。

GP 本戦開始 早くも後がない

Round1 BYE

取ってて良かった PWP

Round2 Wenさん 白青緑 ○○

G1 相手はクリーチャー事故で 1/1 再生しか出ない。このためこちらは変異を含めてのタフネス 2 以上で殴り続ける。5 マナ域に達しても他のクリーチャーが出ないか、又は即座にこちらが除去。相手のラスをケアしてのこちらが手札のクリーチャーを 3 枚もキープしたうえで、余裕で殴り続けて勝ち。

G2 相手の土地が 2 枚で止まった。勝ち。

Round3 Hanさん 白黒緑 ○××

同系に当たり、さっそく土がついて 2-1。最初のほうで除去を使いすぎて息切れした後に相手が大量展開してきたパターンで 2 度負けたので、完全にプレイング負けっぽい。

Round4 Songさん 白青黒緑 ○××

今度も息切れ負け。もう後がない。というか駄目でしょこれ。

3 敗なら 2 日目はないので速攻ドロップかなあ…。

上海は美人が多い

ラウンド 2 の開始前に、ニッサのコスプレイヤーの写真を撮る。

原作どおりにパイオツでけえ！詰めてあるのかな？

またバイヤーブースの「天使牌」が宣伝用にキャンペーンガールを投入していた。噂では、今後は Play! に代わってアジア地域の GP の主催に乗り出すらしい。

まあそれはそれとして、鼻の下を伸ばしながら一緒に写真を撮って貰う。

ところでこれは強調していいと思うが、上海会場は美人が多い（個人の感想です）。

プロの仕込みコンパニオンやコスプレイヤーは別格にしても、会場に座り暇そうに携帯をいじっている普通の娘にもエロカワイイ娘が多し。眼鏡っ娘が多いのもいいね！



原作ニッサとコスプレニッサ



キャンギャル3人。背、高いな！

単にお前の好みやろという話もあるかもしれませんが、総じて言えばスタイルがいいです。まあ基本彼氏つきなんですけど、もちろん。

意外と粘る

Round5 Chenさん 白黒緑 ×○○

G1 こちらに白が出なくて負け。

G2 相手に緑が出なくて勝ち。

G3 相手の土地が4枚で止まり、相手に白が出なくて勝ち。

うん、先に5マナ3色に到達したほうが勝つ感じだね。コモンの絆魂4/4が表になれるかなれないかで運命が分かれるアブザン同系対決。

Round6 Zouさん 青黒緑 ○○

G1 相手が《血の暴君、シディシ》を出して墓地を肥やしてゾンビを出す。むむむむと

思いつつ殴り合い。その後、相手がアタックしてきて戦闘解決後に、シディシの能力でライブラリーから墓地に落とそうとしたところで、自分もその能力に（本を見て）気がついたので制止しジャッジを呼ぶ。誘発忘れ。ジャッジに「スタックに乗せるか？」と聞かれたので、自分も忘れていたけどまあ競技だしということで「乗せない」を選択。

もっとも、それで1匹2/2が出ていても勝てた感じ。シディシあんまり強くない感。

G2 危なげなく勝ち。

Round7 Wangさん 白青黒赤 ×○○

G1 カマキリに殴られ続けて除去を引かずに負け。

G2 接戦のすえ殴り勝ち。

G3 相手の土地が3枚で止まりこちらの土地が2枚で止まる、レベルの低い接戦（笑）。しかしこちらが不利で押されるも、からくも勝ち。脳汁が出た。

これで2-2からの3連勝で5-2。を、もしかして2日目進出か？と一瞬思う粘りぶり。

すでにリバウンドシールドの受付は16時で終わっており、あと2連勝できれば通過。

本戦を終えて市内観光へ

うわぁ、なんか凄いのが出て来ちゃったぞ。
このカメラで俯瞰で一体何を撮るんだ。
フィーチャーエリアか。

ナッシュと来年の予定など雑談し、正月のGPマニラについて聞くとナッシュは行かないとしたうえ「上海は日本より危険。でもマニラはもっと危険」とか言うのでゲラゲラ笑う。
いや笑い話ではないのだが。この「危険」と



というのは治安というより「中国との戦争」のニュアンスを含んでいるようだ。

もっともこれに対しては実のところ何とも言えない。中国人のナッシュだから、我々には分からないその辺の中国の国内の危険な雰囲気を感じているのかもしれないし、あるいは我々がたまに国境の漁船問題の小競り合いなどで中国や韓国と「戦争だ！」とマスコミに煽られて考えるのと同レベルに煽られているだけかもしれない。

Round8 Hanさん 白青黒赤 x○x

G1 速攻でカマキリが出たりして除去できずさくっと負け。相手のデッキ強いよこれ。

G2 相手が4連続平地しか置けないという事故勝ち。

G3 相手が先手のうえマリガン。この際事故れー、と祈るも（笑）奇跡は起こらずに、相手が3ターン目にカマキリを出しこちらは飛行を止められず。そして向こうに2/3と3/3カマキリが居てこちらライフ9になるなり。相手はメインに《飛鶴の技》を使ってきて10点もぎとられて終了。うん、完敗。

ジェスカイのレアつえー。これで私のGP 2日目の目はなくなりました。

これで5-3で、時間は19時。

あと1回遊べるけど腹も減ったし、まだ上海ナイトをひと遊びできそうな時間だよね、ということでPWP24点期待よりはやっぱりドロップすることにする。

一瞬だけ「これはもしかして2日目へ？」の夢を見れて楽しかったです。あとはいつものように、明日の9時からスーパーサンデーシールドを楽しむGPになりました。

今日は7人の方と対戦して、日本人や欧米人とは対戦せず全員中国の方だったわけですが、全員が中国語パックを使っていたので終始ファットパックの小冊子が活躍することになりました。

GP 台北やGP 香港とかだと、サイドイベントはともかく GP 本戦では現地の方を含めてもあまり中国版を使う方がおらずほとんどが英語版を使っていたのとは随分温度差を感じたものです。これが「本土」というものなののでしょうか。

ともあれ、これで私のGP 本戦は終了です。

タクシーで南京西路静安寺へ

ガイドブックをパラパラと開き、今夜はそんなに遠くなくてそれなりに飯屋がありそうな「南京西路」までタクシーで行くことにする。ガイドブック見せたけど通じたかなあ。とりあえず方向は合ってるっぽい。

そしてしばらくしてタクシーは止まった。
21 元。ふむ。高くないな。

そして目の前に立つ金ピカに光る建物に
「すげえ！」と感嘆。来て良かった。

…で、**ここはどこだ？**（笑）



駅や通りの名前などをマップで調べると、

どうやらここは南京西路でなくその手前一駅の「静安寺」であるようだった。タクシーにこちらの言葉が通じてなかったじゃん（笑）。ま、いいけどさ。

時間は 20 時過ぎ。夕食にするには悪くない時間だ。

道に迷ったすえに串焼き屋で夕食

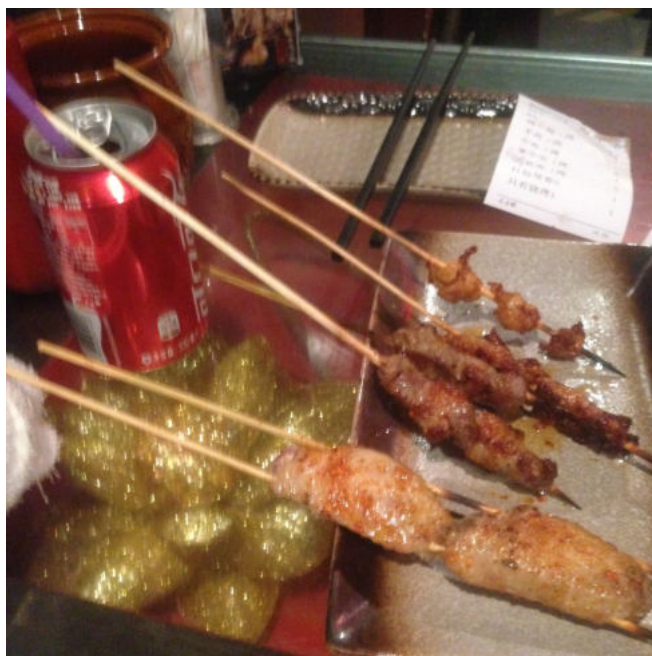
ガイドブックを見ると近くにおいしい火鍋の店があるようなので、まずはそこを目指してみるかと歩く。少し繁華街から外れるようだな…と思いつつ寂しいほうに進んでいくと、またお約束のように迷った（笑）。

昨日の反省から、手元の日本語の地図で道を尋ねずにファミマに入って中国語の上海地図（18 元）を買ったうえで、店員に「ここはどこですか？」と聞くことから開始する。もっと早くこうするのだった。

そして目的の火鍋の店は見つからず、見かける屋台の類は自分が苦手なシーフード系であったり、点心の類は量り売りでうまくオーダーできず（指差して1個くれという注文ができず、やたら大量に包まれかけて断ったり）さらに小一時間ほど迷走したうえ、最後はもう自分好みのものが食べればいいやということでイトインのある串焼き屋に入った。

串焼きを7-8本ほど指差して、コーラも頼んで無事オーダー完了。30元くらいだったかなあ。いただきまーす。
うん、これはおいしかったです。

ちなみにこの投稿を見ていた GEN さんが「何本かお土産に」という mixi メッセのオーダーを入れていたのですが、食中に画面を開かず読み落としました（笑）。



帰り道でタクシーにぼられるのこと

夕食を終えると22時。

腹も十分ふくれたので、今夜はこの近くのマッサージ屋に行って締めることにしました。昨夜ほど歩いたわけではないので足は頼まずに、100円で背中と腰を1時間。それ以外はあまり書くことはないです。

あとはタクシーで帰って今夜も終了なわけですが、今夜のタクシーが露骨にボッタくってきたので、いささか呆れながら感動しました。

例によってホテルの名前と住所の紙を見せて、タクシーは西へスタート。

すでに2日間歩き回って周辺の通りの名前や地理も覚えていたので、ホテルの近くになり「ああ、もうこの交差点を曲がって到着だな」と思っていたらそこでぐんとアクセルを

かけて曲がらずにさらに数百メートルホテルより西方向に進んだのに驚く。初日に GENさんと食った焼肉屋のあたりまで行きましたよコレ。

さすがにこれはあかんやろと思って英語で適当にわめき散らしたら、しぶしぶと角を2つ曲がって戻ってホテルの前に到着した。メーターは32元であった。すでにこの時点で、だいぶボラれていて不愉快になる。

話はまだ終わらない。

ともあれ32元を支払って終了しようとするも、財布の中に交通カードが見当たらない。どうやら行きのタクシーで返却して貰い忘れたように思える。これはこれでチャージ残とデポジットで50元くらいの損失だし「運ちゃん教えろよな…」と思った案件なのだが、まあこれは自分のミスだから仕方がない。

仕方ないので現金で払うことにするが、ぴったりの小銭がなかったので40元を出したら、釣りを寄越そうとしないのに驚いた。こちらが怒声を上げたらしぶしぶと5元寄越した。

足りねえよ。メーターを指差してあと3元返せと何度か怒鳴るも、向こうは中国語で何か言い返して来て金を出そうとしない。これを数回繰り返したすえ諦めて怒鳴りながらタクシーを降りてドアを力任せに閉める。たかが3元されど3元。ああむかついたー。

確かに事前に読んでいた観光ガイドにも「交通カードでないと釣り銭を誤魔化すことがある」とは書かれていたのではありません。このため自分は初日から交通カードを用意してタクシーに乗っていたのですが、このことだったのですね。おそらくボッタくるタクシーの側としては、ぴったりの現金を用意しないならば釣り銭は「チップ」として当然の取り分だとでも思ってるんだと思います。でなければあの堂々ぶりは説明が付きません。もっともこんなタクシーはごく一部で、大半は1元単位で釣り銭を返す普通のタクシーであると後で知ります。

多分あと2日で4回はタクシーを利用するのだろうけど、不愉快な思いをしないためには交通カードを買うべきなのかなあ…とか考える。ただ確か交通カードは地下鉄駅でしか売ってなかったと聞いていたので、そのために駅まで行くというのよね。

ともあれコンビニで飲み物を買ったうえで、ホテルに帰投。

シャワーを浴びる頃に日付も変わりました。

明日はスーパーサンデーシールドなので、30分かけて洗濯を済ませるなり就寝。

2014 年 10 月 5 日（日） スーパーサンデーシールドの朝

昨日は早寝したためか、6 時に目が醒める。

そういえば diarynote って読み書きできるのかなと思ってノート PC を起動したら普通に接続できたので、ならばと忘れないうちに昨日のマジック日記を書いてしまうことにする。セイントザウルスさんの日記を読んで初日の通過を知る。やっぱり強いなあ、あの人。デッキはジェスカイだったらしい。やっぱりジェスカイなのかこの環境。

9 時からのスーパーサンデーシールドに参加すべく、朝の支度を済ませて 8 時半に GEN さんとホテルを出る。ファミマで朝食を買ってからタクシーで会場へ。

車中でライトニングケーブルがお亡くなりになったことを発見する。iPhone を充電できなければ数時間のうちに通信不能になる。今夜にでも調達せねばなるまい。

とりあえず必要のない時は iPhone の電源を落として節約（このため今日は写真少な目）。

会場に到着するなり、サイドイベントの列に並んで、200 元を払ってスーパーサンデーシールドにエントリーし、開始を待つ。近くでジャッジミーティングをやっている。

昨日の最終スタンディングを見る。ドロップしなければ 15 点は 300 位くらいだったか…。



ヘッドジャッジにファットパック冊子の使用について確認。スーパーサンデーシールドは英語版パックは提供せずに**中国語パックのみ**を使用する（え、そうなのか）。このため、構築中でもファットパックの冊子を開いて確認しても構わない。

対戦の際には対戦相手にちゃんと冊子が見えるように開いて、自分がカードの写真だけを見ていることをアピールしながら見る。OK 無問題。

ともあれ昨日の本戦同様、この冊子が大活躍することになるだろう。

スーパーサンデーシールド構築

そして配られたパックをデッキリストに登録してシャッフルののち、構築を開始する。

自分はあらかじめ「中国版パックのみ」と聞いていたので驚かなかったが、はす向かいの日本人プレイヤーがジャッジに「英語パックはないのか」「ない」という会話を交わしたのちに、ふて腐れてデッキリスト用紙を投げるように机に叩きつけていた。

まあいきなり中国語版パックを渡されて組むのは難しいし、実力の7割も出せないだろうからやる気を失うのも分かるけど、あらかじめ日本でファットパックの小冊子も用意して先ほども質問した私からすれば「怒る前にリサーチが足りないよね」とは見ていて思った。そもそも対戦相手はほぼ全員中国語版を使っていたと思うんだけど、それで昨日の本戦は相手のカードをちゃんと理解していて戦えたのかな…？少なくとも私は昨日は、しばしば小冊子の助けを借りたよ。まあ、それはそれとして自分のデッキを構築する。

Creatures: 17

《アイノクの盟族》
《ジェスカイの学徒》
《マルドウの軍族長》
《雪花石の麒麟》 * 2
《霧炎の織り手》
《湯熱の精》
《氷河の末裔》
《高峰のカマキリ》
《陰道の神秘家》 * 2
《旋風の達人》
《峡谷に潜むもの》
《内向きの目の賢者》
《眼の管理人》
《氷河の忍び寄り》 * 2

Spells: 6

《幽霊火の刃》
《抵抗の妙技》
《引き剥がし》
《鐘音の一撃》
《必殺の一射》
《騎乗追撃》

Lands: 17

《急流の崖》
《風に削られた岩山》
《平地》 * 7
《島》 * 6
《山》 * 2

Sideboard:

《道極め》
※《旋風の達人》を抜いて入れた。

今日はタッチ赤のジェスカイ。均等3色ではなくしばらく赤が出なくても一応は回る内容なので、何とか事故らずに善戦してくれないかな…。答えはまもなく。

取りレアは右の通り。

もう《足首裂き》くんはおなか一杯ですよ…。

《神秘の痕跡》
《足首裂き》
《はじける破滅》
《内向きの目の賢者》
《凶暴な拳刃》
《幽霊火の刃》

スーパーサンデーシールド開始

スーパーサンデーシールドは210人くらい8回戦。何にせよ人数にかかわらず、上位の4名のみが決勝進出なので、2敗すればもう後がない。つまり2敗したらドロップ。

これはスーパーサンデーシールドの真横で開かれていた8人イベントの卓。

一列6卓のみ。横で見る限り一日で10卓くらいは成立していたのだろうか。

うん分かってる。

8人イベントが一日に100卓も立つ日本のGPのほうが明らかに世界的に異常（笑）。



Round1 Feiさん 白青黒緑 ×○○

時間切れになりそうな所を延長ターン5で2-1勝ち。

Round2 Zhuさん 白黒赤緑 ××

赤黒タッチ白の高速除去ビート。こらあかんやつや。相手が事故らない限りは勝てない。そして0-2で圧敗。早くも土がついた。早くも後がない。

Round3 Zhuさん 白黒緑 ○○

2-0しているとはいえまだまだ初心者と思しき人に、危なげなく2-0で勝ち。

2枚目のプレイマットを入手する

例によって、ラウンドの合間に鼻の下を伸ばしてコスプレイヤーと一緒に写真を撮って貰ったりする。基本、旅の恥はかき捨て。

さらに M 野さん GEN さんと立ち話している時に、昨日朝 VIP コーナーで話していた個人バイヤーが近寄ってきてプレイマットをちら、と見せる。このためその 2 人から 10m くらい離れたうえで、〇〇〇元を渡してパンダのプレイマットをゲット。よし、これで関東リミッツ 2014 の上位賞獲得！ちなみにバインダーなどのセットもいらないか？と聞かれるが値段を聞いて断る。円安が憎い。



2 人の所にプレイマットを手に戻ると M 野さんが「この俺様の目の前でそれをやるか」と言う目をしながら「いやあ中国の人って、会場に『禁煙』と貼ってあっても平気で煙草吸うんですよね。きっとあれ貼ってる真下でないなら良いと思ってるんですよ」とか言い出す。だからほら、**ぼくも 10m 離れた**じゃないですか（笑）。また M 野さんから弁当券を譲って貰って、昼食は売店の弁当にする。日本から持ってきたプロモ類を少々バイヤーに売って人民元を獲得。この時だけ円安歓迎。

スーパーサンデーシールド終了

Round4 Sheadi さん 白黒緑 ○○

G1 まあ勝ち。

G2 相手が平地しか引かない事故で勝ち。

Round5 Ji さん 青赤緑 ×○○

G1 島を引かない事故で負け。

G2 危なげなく勝ち。

G3 +2/+2 装備が無双して勝ち。

色事故がなければ勝っている。そんな感じで 4-1。あと 3 回全勝できればとは思うが。

Round6 Siさん 青黒赤 ××

G1 初手を平地 2 枚キープしたら、続く 2 枚も平地で 3 色揃ったのは 7 枚目。これでは勝てない。

G2 2 体生贄が決め手でその後にこちらの生物が伸びず、一気に 12 点を殴られて負け。

負けたー。これで 2 敗したのでドロップ。これで私のスーパーサンデーシールドは終了。時刻は 17 時半、これから最後の夜を楽しむには悪くない時間だ。ということで皆に挨拶回りをして GP 上海の会場を離脱することに決定。次は静岡で会いましょう。

GEN さんもスーパーサンデーシールドを 2 敗していたが、GEN さんはこれから金曜日のスタンダードシールドの決勝ドラフトがあるので、1 人で会場を出ることに。

GP 上海全体の感想としては、基本的に中国人プレイヤーは中国語版パックを使っていたものの、半分くらいの方が「萌え」系スリーブを使用していたうえ、こちらが日本人だと分かったら「アニメ好きです」「ワンピース好きです」と話しかけて来た方が多数。あまり国境は感じないし、日本文化は順調に侵略中。

そういえば今回の上海では、いわゆるアニメなどの「萌え」関連の店やグッズを発見できなかったのが残念と言えば残念でした。もちろん探せばいくらでもあるのだと思います。

アーティストにサインを貰う

会場を出る際にふとアーティストの Briscot のサイン会のブースを覗いたら、終了間際だったもののまだ並んでサインを貰える状態だったので並ぶ。半ば諦めていたのですが。さきほど獲得したパンダプレイマットと、持参したズルゴと光ったズルゴにサインを貰う。ジャッジのたくみさんに事前に光ったズルゴを譲って貰っておいて良かったです。



安レアなのが残念ですが、ズルゴと光ったズルゴ。
そしてプレイマットには今日の日付入り。

いったんホテルに戻る

18時。荷物もあるので、いったんホテルに戻る。帰りのタクシーは1メートルで14元。紙幣で15元を出したら1元硬貨を律儀に返してきたので、再度それをチップにと渡す。これならOK。昨夜ボッタくられて上海タクシー全体を悪く思ったのを反省。

部屋に戻って素っ裸になって、着ていたものを洗濯機に放り込む。

GENさんはあと3時間は帰ってこないだろうからここは部屋におねーちゃんを…嘘です。30分後にこの洗濯が終わったら、ホテルを出て最後の上海の夜の観光に行こう。まずはとりあえずは土産を買わねば。まだ会社へのお菓子も女房への土産も何も買えていない。あとTシャツや酒もね。そしてライトニングケーブルも買わねばならない。あとはどこに行くかだが…この3日間の夜歩きは、割と変化球狙いで失敗しているので、最後の夜はストレートに観光地コースで。よし南京東路にしよう。

南京東路の繁華街へ

洗濯が終わったのでホテルを出る。まずコンビニで小銭を作ってタクシーで南京東路へ。タクシー代は34元。例によって35元を紙幣で出して、釣り1元をチップに渡す。

「新世界」と書かれたビルの前でタクシーを降りる。いいなあこのキラキラ感。心が浮き浮き。自分は上海は初心者なのだから、最初からこういう所に来るんだったなあ。3日間を無駄にしたかも。でもまだ19時。上海の夜はこれからだ。

人がたくさんいる繁華街をぶらぶら歩く。

表通りに量り売りの菓子屋があったので、まずは会社土産の菓子を30個購入。

そしていつしか自分の足は、やはり表通りよりも1本裏通りの屋台街へと。手始めに屋台で小さい蒸しパン4つを10円で買う。…これはどうでもいい味かなあ。1つだけかじって残りを鞆の中に入れる。

やはりまずは夕食だということで、適当な庶民飯屋に入って牛肉炒飯をオーダー。



さて、どうかな…と思ったら想像した倍くらいの分量の皿がでてきた。スープもとても全部は飲めない。

味は大味なものの、これでたった13元。上海がかなり好きになりました（現金だな俺）。

ライトニングケーブルを確保

それはそれとして、いよいよ iPhone の電源が尽きかけていた。もともと写真を撮るとき以外は基本電源を落として節約していたのだが、いよいよピンチ。このままでは写真すら撮れなくなってしまう。

このため観光は後回しで再び表通りに出て電気屋をひたすら搜索するモードにチェンジ。M&M ワールドなど面白そうな店もあったのが我慢してスルー。

あるデパートの6階にある電器屋で誰何した結果「このビルの1階にある」と聞いて降り、ブランドショップの隅にラジオなどが置いてある一角を発見したので店員に聞いてビンゴ。アップル純正のライトニングケーブル 149 元。さすがにこれは値引きとか、無理。

一応 iPhone を示して「コレに充電できないようなら買いたくないのだが」と伝えるも、店員は「開封したら返品不可」の一点張り。まあどう見ても純正品だし店員は悪くない。悪いのはアップルだ（笑）。

そしてレジで代金を払い、さっそく目の前で iPhone を充電器に接続すると、無事認証して充電が開始された。よし。総統！まだ歩けます！ にこやかに店を後にする。

夜の繁華街を堪能

これで電源の心配がなくなったので心起きなく上海観光モードに移行。まだ 20 時。
夜はこれからである。

手始めにさっきはスルーした M&M ワールドに入る。ラスベガスでの M&M ワールドのようにオリジナルメッセージチョコ刻印サービスがあったならば、またお土産に作るのも良いかもしれない…と思ったものの、残念ながらその



サービスはやっていなかったようなので、何も買わずに出る。いささか残念だ。
なお M&M ワールド上海は、この 2014 年 8 月にオープンしたばかりらしいと後で知った。



デパートの裏路の露店で、平成ライダーっぽい
(牙狼か?) トランプを発見したので女房への
土産用に購入することに。27 元と書いてあった
ので 500 円ならいいかと思って、うっかり値切
らず 50 元札を出したら、露店のお兄ちゃんが
しばらく考えた末に釣り 30 元を寄越してきた。
やばい**ボラれる前に同情された**ぞこれ。
おそらく適価は 10~15 元くらいなのだろう。

いやあ上海楽しいじゃないですか。やはりいきなり上級者コースで滑らず、まずは初心者
コースからでしたね。あとは裏通りで海賊版の DVD を売っていただいたい私の欲しい
パーツは揃うのですが、ないのかなあ…。

時計は 20 時半、次第に裏通りの怪しい
ゾーンに入ってきました。

ここは iPhone のアクセサリばかりの
露店が 20 件ほど並んでいたモール。
どこも同じものばかり売っていて商売に
なるのかなあ…と思った。

そしてその中に一軒だけ露店ボドゲ屋が
混じっていたので、入念にチェック。

中国語版カルカソンヌとか、中国語版の

「世界の七不思議」とか…に心を惹かれたものの、ネタとして買うにはお安くないので、
これらはスルーしてオリジナルのエッチなカードゲームらしいもの 2 個を各 10 円で購入。



エッチな現地製のゲーム

オリジナルのエッチなゲームは、あとから開封したらこんな感じでした。

1点目はカードゲームというよりはただのトランプで、48手のそれぞれの解説つき。

ジョーカーが膣外射精なのはちょっとだけ受けました。



2点目はカードゲームでなくて、サイコロセットでした。8個の6面サイコロに48枚のシールを貼って完成させる造りです。

絵は先の48手トランプと使いまわしです。たぶん現地の絵師のものだと思うのですが、もしかしたら日本のどこかからパクってきているのかもしれない。



何にせよこの48手トランプもサイコロも、おそらくはその「遊び方」というのは、ゲームというよりカップルが今夜の体位を決めるために使用するだけのものであると推定されます。つまりリア充専用アイテム。

即座に**ふたりエッチゲーム**と命名。

何にせよ、話の種に10元なら安いですな。

夜遊びの誘惑

そして夜の繁華街や裏通りをおっさんが1人で歩いていたら、ポン引きが寄ってくるのはこの世の常なので、やっぱり声をかけて来ましたよ中国人の爺さんが。

爺さんは日本語でなく英語で「Massage?」「Girl?」と声をかけてきて、しばらくするとそのものズバリ「Sex」とも（笑）。買う気はなかったものの試しに「How much?」と聞き返すと「トートー 200」「トートー 200」と言ってきます。トートーって何だろう…と少し考え「What's TOTO?」とか聞き返すも、やがてこれは「ああ Total のことか」と気がついた。総額 200 元。まあ本当にそれで済むのなら確かに安いね（笑）。

まあどこだか知らないが店の前で断ろうと思いつつ話に乗ったふりをすると、爺さんは「それじゃあ、ここから**タクシーで 15 分**。タクシー代あと 30 元」とか言ってきた。さすがの私もこれを聞いて即座に断る（笑）。あるいは上海の中心部は規制が厳しいためなのかもしれない（建前上、中国は売春禁止だった筈）し、もしかしたら本当は良心的な店なのかもしれないけれど、すでに追加課金が発生しているし、何よりさすがに見知らぬ異国の地で 15 分も知らない所に車を走らされては、どんな危険が待っているかもしれず、そうなった場合に向こうの言い分を全部飲まないと帰れないのは明らかでもある。これは無理。「このへんは高いよ!」とかなおも言う爺さんを振り切って別れる。いやあ歩いて行ける所だったらお世話になったかもしれないのに残念だなあ（棒）。

マッサージを受けてホテルに戻る

ぶらぶら歩くうちそろそろ 22 時なので、今日もマッサージで締めようという事で適当なマッサージ屋に入り足揉み 1 時間 100 元。特に書くことはない。

そして 23 時過ぎにタクシーに乗る。写真はタクシーの窓から撮影したよく分からない建物（笑）。さらば上海の夜。



タクシーは普通にホテルに着いて 35 元。特にボッタくりの感はなし。

コンビニで飲み物を買って部屋に戻る。GEN さんはまだスタンダードシールドの決勝が終わっていなかったらしく戻っていなかった。

まあ、自分は構わずシャワーを浴びてから、明日の帰国準備をしよう。

荷造りと就寝

シャワーを浴びてさっぱりして、一休みしたら荷造りを始める。明日は帰国だ。

明日の日本は台風直撃らしいのだが、果たして飛行機は無事に成田に着けるのかな。

ひと通り荷造りを終わると眠くなってきたので GEN さんを待たず寝たものの、2 時頃に GEN さんが帰ってきたので目が醒める。どうやらスタンダードシールド決勝ドラフトは本戦が終了してから立ったらしく（本戦を勝ち残った人間が決勝ドラフト参加メンバーだったので）、GEN さんはそれからドラフトを開始して 2 没しての 18 バックを獲得して終了したらしい。お疲れ様。

では自分は寝直す。

一応 9 時起床予定だが、何時に起きるかは流れで。最悪昼まで目が覚めないのも可。ぐう。

今回の帰国の荷造りをしての反省：

- （１）下着は日数分しか持っていなかったため風呂上りに寝巻き代わりに着るため洗濯の必要があったが、日数分持っていたシャツなんて、わざわざ洗濯の必要はなかった。
なまじ洗濯機が使い放題なため無駄なことをしてしまった。
- （２）コンビニ袋が有料という事前情報のために、コンビニ袋を大量に荷物に持ってきたが、そんなものをいちいち持ち歩かなかったのが丸々余った。実際コンビニでは、常にむき出しで買ったものをホテルまで持ち歩いたり鞆に入れただけだった。無駄無駄無駄ア。
- （３）土産の大量購入に備えて布バック類を複数個持参したがまったく出番なし。荷物は全部来た時の緑の旅行鞆とリュックで足りた。まあ、そもそもお土産を大量に買わなかったのだが。

2014 年 10 月 6 日（月） チェックアウトして老西門へ

6 時過ぎに目が醒める。GEN さんはまだ寝ているが、昨日の日記を書く。

昨夜の蒸しパンの残り 3 つを食べて空腹を満たしつつ、朝の薬も飲む。

8 時前に GEN さんも起きたので、9 時にチェックアウトしてから通りがかりにある老西門骨董市に行って、そこから地下鉄とリニアで空港に向かって正午に空港で昼食にして出国プランを提案。特にノープランだったらしい GEN さんは承諾。



まだ 1 時間ほどあったので引き続きのんびり日記を書いた後、チェックアウト。お世話になったカードキーを返却する。

精算時に洗剤 2 袋エビアン 1 本が課金されていたことを知る。部屋に備え付けのこの洗剤は有料だったのね。

エビアンについては、2 人とも飲まなかったものの冷蔵庫の 1 本にかぶせてあった紙が破れた状態でキッチンに置いてあったので「アウトかな？」と思ったら、やっぱりアウト。追加料金はトータル千円ほど。仕方ないけど、意外に高い。

それも込みでも 4 泊 5 日の宿泊費は 2 人で 31000 円程。正直「これで 5 つ星？」と思う局面はまああったものの、この割引価格ならまったく文句はないな。次回もこの値段ならここをまた利用してもいいですよ。定価の 1 人 1 泊 12000 円とかで利用する気はないけど…。

チェックアウトを済ませてタクシーで老西門へ。2 人行動だとこういう時は助かるね。

10 時に老西門に到着。まずは朝食ということで、GEN さんと駅東側の市場をキャリーを引きながらぶらぶらする…がちゃんとした食堂は見当たらず、特に食材を買うわけでもないの、結果としては散策を楽しむだけに終わる。途中屋台でつまんだ煮しめた米を詰めた饅頭はおいしかったです。



老西門骨董市



地図を見ながら目的地の老西門骨董市へ移動し、通りを渡ってほどなく目的地に到着した。ここか！

味のあるボロい店の並びに「やはり来て良かった」と思った。こういうの大好き。

写真を撮るのを忘れたものの、うっすら埃をかぶった古書や古い中国漫画、陶器などのアイテムの店や、観光客向けの店、人民解放軍アイテムなどが並ぶ。

そして事前情報の通りにボッタくり価格。というより明らかに価格交渉を含めての買い物ゲームを観光客が楽しむ所。目当ての品があったらまず「いくら？」と聞き店員が電卓でだいぶ高い数字を打ち込む所でゲームが始まり、こちらはそれより大幅に低い数字を打ち込み、また店員は…の応酬を繰り返し帰るフリをしたり手を打ったり結局買わなかったりのゲームを楽しむ所。こういうのが面倒だったり嫌いな人にはお勧めできません。

Tシャツを巡るボッタくりの攻防

適当にトランプなど買った後、とある露店で上海に来てずっと探していた「Iラブ上海」のTシャツを発見する。これは買って帰りたいと思った（この時点で負け）。香港や台湾やクアラルンプールでの露店の価格などから、Tシャツなんていいとこ20元だろと思って値段を聞くと「280元」という返事。ありえん。4倍でスタートと



思ったら **15 倍スタート** かよ。さすがに猛然と低い数字を打っては直しを数回繰り返したうえ、面倒になってきたので明らかにまだだいぶ高いよなぁと承知しつつも 55 円で手を打つ。千円ならまぁ、ええやろ。



では去るかと思ったら GEN さんがかわいいパンダ太極拳 T シャツを手にとったので、これも欲しくなって再交渉。

これはいくらだ？ということから話を進めて今度は 20 元から提示して 30 円で終了。

まあ **2 枚で 85 元** になったからいいか…と思いつつその店を後にしてさらに歩くと、そこから数メートルも離れた別の露天で同じ T シャツを売っており、そこのおばちゃんはこちらを見ると「**30 元**

だよー」と声をかけてきた orz

やはりこの T シャツの適正価格は 30 元スタートで 20 元くらいであったか。完敗。

地下鉄で空港に移動

この骨董市はそれほど広くはないので、回っていないエリアを踏査して回るも、手持ち現金も底が見えてきたし、さすがに T シャツの敗北に気落ちしてもう買い物はせずに終える。値段が折り合うようならば、毛沢東グッズのひとつも買ったのだが、やはり観光客目当てと見え高い。

骨董市を出て目の前の地下鉄駅に乗る。



例によって改札前にセキュリティを通す。これは面倒なだけだからノーサンキュー。

そして地下鉄の乗降口では、誰もが降りる人が降りるのを待たずに乗ろうとするために、動線がぶつかって時に押しあいへしあいになる。

しかし明らかに効率的ではないこの光景を見て呆れた GEN さんが、車内に乗るなり吐き捨てるように「○**民どもめ**」とつぶやいて思わず吹く。久々にその単語聞いたよ。

実際まったく否定できないのだが、でも基本的には「教育」を受けてないだけだよねコレ。小学生くらいの女の子が、降りる人を待っていた我々のほうをちらと見て「何で、この人たちは乗らないのかな？」という顔をして横をすりぬけて乗車した一幕もあった。

老西門駅から 8 号線で隣の陸家浜路駅に移動し、9 号線で 3 駅先の世紀大道駅に移動する。そして世紀大道駅で 2 号線に乗り換えて 3 駅で、リニアのある龍陽路駅だ。

写真は世紀大道駅の乗り換え案内。これは凄く分かりやすい。日本もこうしてくれないかな。



入り口の X 線荷物検査と乗り降りの際の乗客のマナーを気にしなければ、上海の地下鉄は乗り換えも楽で安くて快適と思いました。次に来る機会があれば、1 人での市内移動はタクシーより地下鉄かもしれません。

空港で昼食

龍陽路駅でリニアに乗り換えて、正午に空港着。成田行きの自分の便は 14 時 15 分で、GEN さんの便も似たようなもの。あとは昼食を済ませて帰るだけだ。

財布の残りは 55 元ほど。どうやら残さず使いきれぬ模様。

フードコートで、ブルース・リーの娘に
訴えられたというチェーン店で昼食。
35 元。うん、おいしい。



搭乗手続き

12 時半に昼食を終えてエアチャイナのエコノミー窓口に移動すると、100 人以上のその
行列の長さに唖然とする。あちゃー。自分たちの便には遅延などないが、今日の午前発の
便はやはり日本を直撃した台風の影響を受けたようで、遅延や欠航があり自分たちよりも
早い便の人が自分たちより後の便に回されてもいる模様。ご愁傷さまです。

しばらく待って搭乗手続きを終え、セキュリティと出国手続きも終えて 80 番ゲートへ。
免税店でお土産の酒も買う。人民元はだいたい使い切ったのでクレジットカードで。

離陸と携帯電話禁止

残金が 20 元ほどなので、自動販売機でジュースを
探すがなぜか見当たらない。係員に聞くなどしても
分からない。

ウォーターサーバーがあったので、これ幸いに利用
すると熱湯が出てきた。ラーメン用か？後にぬるま
湯が出ることも判明したのでごくごく飲むが、冷水
供給はやはり中国では一般的ではないのか。



ただし受付を挟んだ反対側のゲートに GEN さんが座っており、その GEN さんの目の前に飲料の自販機がある連絡を受けたので、回り込んでジュースと水を購入。これで人民元を使い切って冷たい物を飲み生き返る。そして間も無く搭乗が開始し、14 時過ぎに離陸。



今回の機内食。味はまあまあ。

飛行中、iPhone を機内モードにして操作していたら CA から電源を落とすように言われる。もちろん離着陸時の話でなく水平飛行中の話である。

確かにエアチャイナの注意書きには、

「携帯電話・ゲーム機の禁止」は明示がされているわけなのだけれど、それって

つまり電波を出す奴は駄目ということだよね。このため「機内モード」のアイコンを示しつつ「No Signal」と主張するも相手は耳を貸さない。

まあ電波を出す出さないを判断するコストをかけるよりも一律禁止の方が明らかに楽だし、そのための CA の教育コストもかけられないってことなんだろうけど、釈然としない。何しろ私が機内モードの iPhone を注意されている横では他の乗客が平気でタブレットや PC をいじっていて何のお咎めもなしなのだから。あいつらもその気になれば電波出すぞ。

帰国と電車遅延

何ごともなく 18 時（ここからは日本時間）過ぎに遅延もなく機は成田に到着。

停止を確認して iPhone を起動し、5 日ぶりに日本のツイッターを読む。mixi がなければ事実上日本とほぼ孤立していたわけなので、金盾恐るべし。

シャトルで移動して入国審査を終えるも、それから 30 分くらい荷物が出てこない。



乗客が多く荷物が多いというのが遅延の
基本原因だが、荷物が溢れた結果として
センサーが次の荷物の送り出しをせずに
停止するという事態になったのも遅延に
拍車をかけた模様。

しばらく待ったら出てきた自分の荷物を
受け取り、モデムを返却して税関を通過。

19時過ぎに総武線快速のホームに移動。

台風の影響で 19:02 発の快速が遅れていてまだホームに居り、準備が出来次第発車する
とのことで、そのまま乗って待つ。19時22分に総武線は発車した。

あとは1時間超で新小岩かな…と思ったら、ほどなく成田で乗り換え待ちで停車。さらに
少し待って動いたら、今度は千葉駅で電車が止まっているらしく、その手前の都賀駅で
20分くらい停車。さらに動いたと思ったらまた止まった。

どうやら台風の影響で総武線が間引き運転をした挙句に一時運休もしていたらしく、この
ため帰宅ラッシュをうまくさばけず千葉駅のホームが電車で一杯らしい。ありゃまあ。

20時半に千葉駅に到着して、ここからは遅延はなく21時に新小岩に到着。1時間くらい
遅れたわけだがまあ仕方ない。南口の松屋で夕食にしてからタクシーに乗って21時半に
帰宅。風呂を浴びて生き返って、これで私のGP上海も終了しました。

(完)

ホテルの窓からの光景。

同じユニットの同じ屋根の色の建物が延々と続くこのディストピア感（笑）。



GP 上海 2014 参加記 (v1.00)

発行：新小岩マジック

<https://twitter.com/kondohi>

発行日：2014年12月1日

本書の文章や写真などの無断転載を禁じます

筆者（近藤博次）について：

<https://twitter.com/kondohi> （ツイッター。最近はここメインです）

<http://otakutalker.diarynote.jp/> （ダイアリーノート。マジック関連はここで）